

北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 15 号 (通巻 No.228)

2006 年 8 月 30 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋～オホーツク海スルメイカ資源調査結果

- ・道東太平洋 : 前年より, 分布密度が低く, 大型
- ・根室海峡～オホーツク海 : 小型スルメイカが分布

- ・調査期間 : 2006 年 8 月 22 日～8 月 29 日
- ・調査海域 : 道東太平洋, 根室海峡～オホーツク海 (図 1)
- ・調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場), イカ釣機 6 台装備

1. スルメイカ分布密度 (図 1, 図 2)

道東太平洋では, 調査を行った 8 調査点の平均 CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.23 で, 昨年 (13.32) を大きく下回りました。釧路以西の 3 調査点の CPUE は 0.05～1.33 でしたが, 釧路以東の 5 調査点ではスルメイカは漁獲されませんでした。

前年ほとんど漁獲のなかった根室海峡～オホーツク海では, 2 調査点でスルメイカが漁獲され, その CPUE は 0.05～0.81 でした。

2. スルメイカの大きさ (図 3)

道東太平洋の調査点でのスルメイカの外套長 (胴長) は, 17～24cm でした。外套長組成のモード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 21cm で, 前年 (19cm) よりも大型でした。

根室海峡～オホーツク海で漁獲されたスルメイカの外套長は範囲が 15～18cm, モード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) が 16cm で, 道東太平洋よりも小型でした。

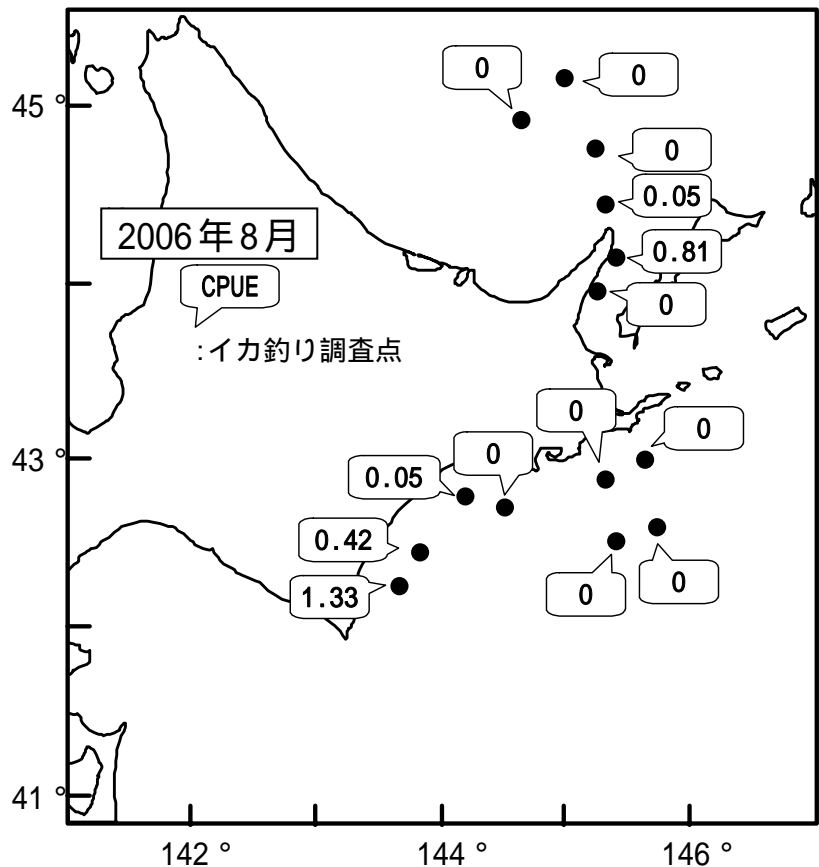


図 1 道東太平洋～オホーツク海におけるスルメイカの分布密度 (CPUE: イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)

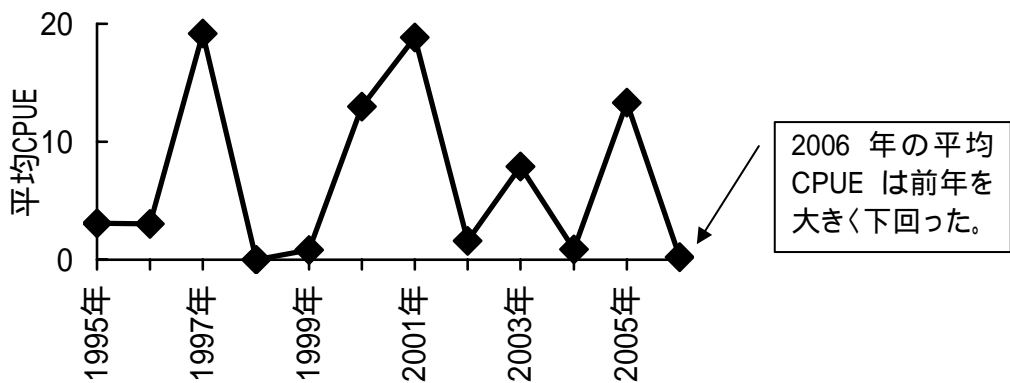
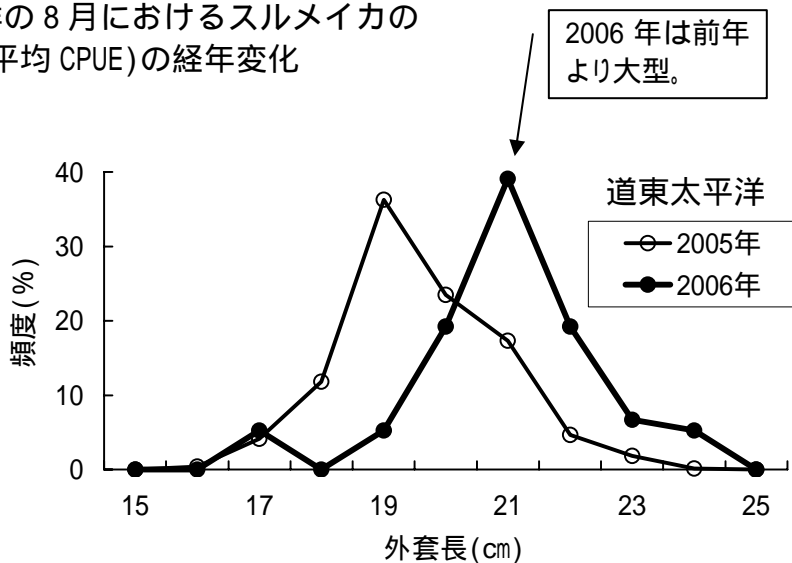
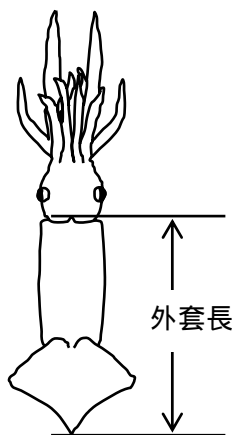


図2 道東太平洋の8月におけるスルメイカの分布密度(平均 CPUE)の経年変化



3. 水温分布

道東太平洋の表面水温は 19.6~21.9 (前年: 15.4~21.8), 深度 50 m 層の水温は 2.7~12.2 (前年: 3.9~10.9) で, 表面が前年より高めでした。

根室海峡の表面水温は 19.9~20.0 (前年: 17.9~18.4), 深度 50m 層の水温は 12.4~14.2 (前年: 11.3~12.1) で, 表面, 50m 層ともに前年より高くなっていました。

オホーツク海の表面水温は 17.6~19.9 (前年: 16.3~18.7), 深度 50m 層の水温は 0.3~9.4 (前年: -0.5~13.7) で, 表面が前年より高めでした。

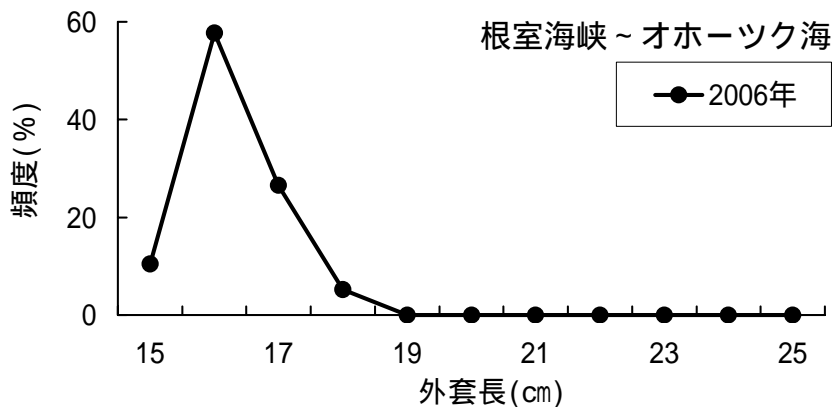


図3 8月に道東太平洋と根室海峡~オホーツク海で漁獲されたスルメイカの外套長組成 (上: 道東太平洋, 下: 根室海峡~オホーツク海)

今回の調査結果と各研究機関の調査結果をもとにして, 第2次スルメイカ漁況予報が9月下旬に発表されます。

(文責: 釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)